



*hke*  
human health care

# 株主通信

## 2015年度第2四半期報告

エーザイ株式会社



エーザイは WHO のリンパ系フィラリア症  
制圧活動を支援しています。

### 株式に関するメモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料) (平日 9:00～17:00 オペレーター対応)
上場証券取引所	東京(証券コード:4523)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.eisai.co.jp/fr/index.html">http://www.eisai.co.jp/fr/index.html</a> ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

#### 株式に関するお手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式をお持ちの場合	特別口座*の場合
住所変更	お取引のある証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
单元未満株式の買取・買増請求		
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の受取方法	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 TEL:0120-232-711 (通話料無料)	

\*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていなかった株主様の株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。

#### 株式に関するお問い合わせ先

エーザイ株式会社 総務・環境安全部 株式グループ  
TEL:0120-501-217  
(平日 9:00～17:00 通話料無料)

## 株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	296,566,949株
うち自己株式数	10,725,899株
株 主 数	59,977名

## 大株主の状況

(2015年9月30日現在)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	22,230	7.50
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	21,993	7.42
日本生命保険相互会社	14,346	4.84
JP MORGAN CHASE BANK 385147	12,807	4.32
株式会社埼玉りそな銀行	7,700	2.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	6,092	2.05
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理 サービス信託銀行株式会社	5,437	1.83
株式会社みずほ銀行	5,398	1.82
公益財団法人 内藤記念科学振興財団	4,207	1.42
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	4,163	1.40

\*持株数は切捨表示しております。

\*持株比率は自己株式を含む発行済株式数に対する割合として算出しております。

\*自己株式10,725千株(3.62%)は、議決権がないため除いております。

\*表中の株主名は、2015年9月末時点の株主名簿で確認できた名義のみ記載しております。

## 株主還元

配当については、健全なバランスシートをベースとして、連結業績、DOE(\*1)およびフリー・キャッシュ・フロー等を勘案し、継続的・安定的に実施しています。自己株式の取得については、市場環境、資本効率等に鑑み、適宜実施する可能性があります。

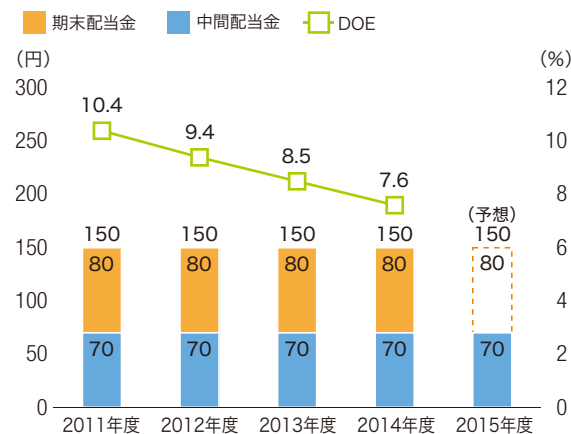
DOEは、株主様への利益配分を示す配当性向と、資本効率を示すROE(\*2)の2つの要素から構成され、当社の掲げる株主価値の創造に資する指標です。また、株主資本に対する配当の比率を示すことから、バランスシートマネジメントを反映する指標となっています。

2015年度第2四半期の中間配当金は、1株当たり70円(前年同期と同額)とさせていただきます。なお、期末配当金は、80円(年間配当金150円)を見込んでいます。

\*1 DOE(親会社所有者帰属持分配当率)  
=配当金総額÷親会社の所有者に帰属する持分

\*2 ROE(親会社所有者帰属持当期利益率)  
=親会社の所有者に帰属する当期利益÷親会社の所有者に帰属する持分

## 配当金およびDOEの推移



配当金の口座振込によるお受け取りのご案内

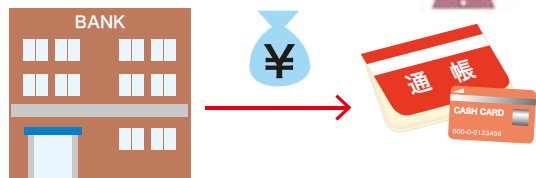
配当金のお受け取りは、口座振込のご利用が便利です。口座振込をご指定いただきますと、配当金支払開始日にご指定の銀行等の口座に配当金をお振込いたしますので、迅速・安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。

郵便局の窓口でお受け取りの場合



お手続きを済ませますと…

ご指定の口座に振り込まれるため、確実にお受け取りいただけます。



<お問い合わせ先>

証券会社にて株式をお持ちの株主様  
▶▶お取引のある(口座を開設されている)証券会社

「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管替機構)に預託されていた株主様の株式は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に当社が「特別口座」を開設して記録、管理しております。

この「特別口座」は、あくまで暫定的な口座であり、売買の際には、証券会社の取引口座に振り替えていただく必要がありますので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

株式を「特別口座」で  
ご所有の場合

証券市場での  
売買ができません。



お手続きを済ませますと…

証券市場で自由に売買ができるようになります。



特別口座にて株式をお持ちの株主様

▶▶三菱UFJ信託銀行 証券代行部  
0120-232-711(通話料無料)



株主の皆様には、日頃よりご指導、ご支援を賜り、誠に有難うございます。

2015年度第2四半期決算と経営の状況をご報告申し上げます。

代表執行役CEO

内藤 晴夫

●売上収益は、抗がん剤「ハラヴェン」、「レンビマ」、および抗てんかん剤「ファイコンパ」の拡大、ならびに中国、アジア、EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)医薬品事業における高い成長により、2,755億3百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

●営業利益は、米国での構造改革による一時的費用の発生はありましたが、増収による売上総利益の増加や費用効率化に加え、固定資産の譲渡による売却益および開発品に関する共同開発・共同販促契約締結に伴う契約一時金受領により、180億76百万円(前年同期比0.3%増)となりました。四半期利益は、支払利息の削減を進めたことにより金融費用が減少し、111億34百万円(同6.0%増)となりました。

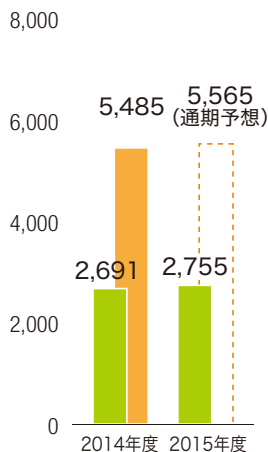
●中間配当は、1株当たり70円(前年同期と同額)とさせていただきます。なお、期末配当金は、80円(年間配当金150円)を見込んでおります。株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 第2四半期決算の概況【IFRS(国際会計基準)】

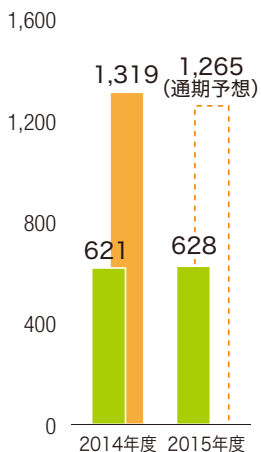
(数字は四捨五入表示)

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)

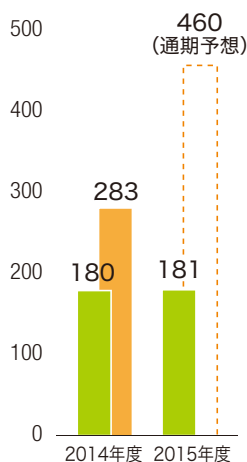
## 売上収益 (単位: 億円)



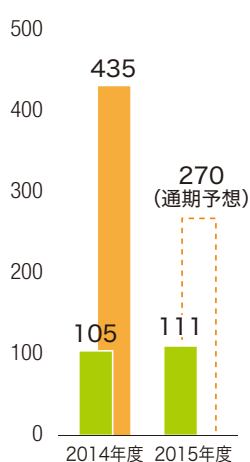
## 研究開発費 (単位: 億円)



## 営業利益 (単位: 億円)



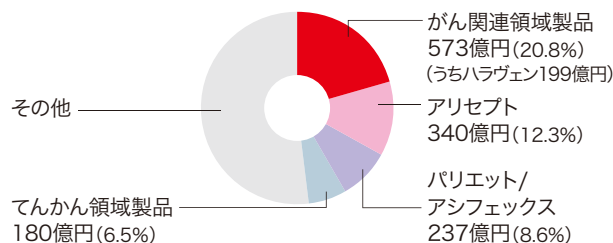
## 四半期(当期)利益 (単位: 億円)



\*本株主通信に記載されている予想および計画等は、さまざまな不確定要素(経済情勢、薬事制度、研究開発上のリスク、製造承認許可など)により変動するものであることをご了解願います。

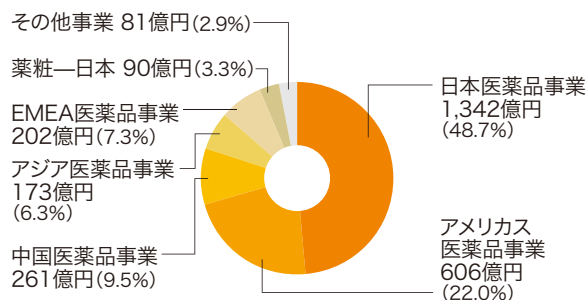
## 主力製品の売上収益

( )内は構成比



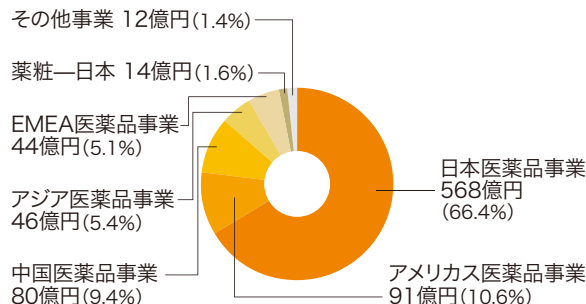
## 報告セグメント別売上収益

( )内は構成比



## 報告セグメント別利益

( )内は構成比



\*研究開発費(628億円)および親会社の本社管理費等(46億円)は、報告セグメント別利益に配分していません。

## 開発品の状況

2015年4月以降、開発ステージに進捗があった開発品は以下のとおりです。(2015年10月末現在)

領域	製品名、 開発品コード	剤形	概要	地域	開発状況			
					フェーズII	フェーズIII	申請	承認
がん、 支持療法	ハラヴェン (E7389)	注射	抗がん剤／【効能・効果追加】軟部肉腫	日米欧			▶	
			抗がん剤／【効能・効果追加】 トリプルネガティブ乳がん(*)	米国	I/II ▶			
	レンビマ (E7080)	経口	抗がん剤／甲状腺がん	欧州				5月 ▶
			抗がん剤／【効能・効果追加】胆道がん	アジア (韓国)				10月 ▶
		経口/ 注射	抗がん剤／固形がん(*)	日本	▶			
ディシーブーズ (E7040)	血管 塞栓材	抗がん剤／【効能・効果追加】 多血性腫瘍又は動静脈奇形に対する動脈塞栓療法	日本				9月 ▶	
神経	ファイコンパ (E2007)	経口	抗てんかん剤／部分てんかん・全般てんかん	日本			▶	
			抗てんかん剤／【効能・効果追加】 全般てんかん(強直間代発作に対する併用療法)	米国				6月 ▶
			抗てんかん剤／【剤形追加】経口懸濁液	欧州				6月 ▶
	メコバラミン (E0302)	注射	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	米欧			▶	
日本			▶					

\* 抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法(米国メルク社(Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.)との共同開発)

(注)肥満症治療剤「ベルヴィーク」について、アリーナ・ファーマシューティカルズとの共同開発により、米国でフェーズIIにありました禁煙補助に係る適応の開発を中止しました。

### ●「ハラヴェン」の軟部肉腫に係る効能・効果の追加を申請

2015年10月、自社創製の抗がん剤「ハラヴェン」は、新たに軟部肉腫に係る効能・効果の追加を日米欧に申請しました。

軟部肉腫は、脂肪や筋肉などで発生する悪性腫瘍で、進行した場合の予後は悪く、アンメット・メディカル・ニーズ(未だ満たされない医療ニーズ)が非常に高い病気のひとつです。

米国FDA(食品医薬品局)からは、新薬承認審査を迅速に進める優先審査品目に指定され、審査期間が6カ月に短縮されています。





## ●インドネシアでリンパ系フィラリア症 制圧をサポート

2015年10月、インドネシアのボゴールにて、リンパ系フィラリア症の蔓延地域の住民に治療薬の服薬を呼びかけるイベントが開催され、現地子会社社員などが参加しました。

顧みられない熱帯病の一つであるリンパ系フィラリア症は、蚊の媒介でヒトに感染する病気です。痛みに加え、身体の一部が異常に肥大する象皮病などを発症します。2015年10月にノーベル医学生理学賞を受賞した大村智・北里大特別栄誉教授の受賞対象となった薬の適応疾患の一つとしても知られるようになりました。

当社グループでは、インドのバイザッグ工場 で製造したDEC(\*)22億錠を、WHO(世界保健機関)を通して2020年までに2.5億人の人々に無償で提供する活動を続けています。インドネシアには、2015年の集団投薬のために約1.5億錠を無償提供しました。

\*ジエチルカルバマジン(リンパ系フィラリア症治療薬)

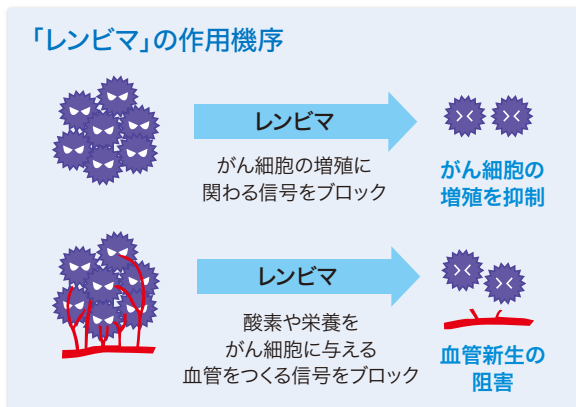


## ●新規抗がん剤「レンビマ」がブレイクスルーセラピーの指定を受領

2015年7月、自社創製の新規抗がん剤「レンビマ」は、進行または転移性腎細胞がんの適応に対して、米国FDA(食品医薬品局)よりブレイクスルーセラピーの指定を受けました。

ブレイクスルーセラピーとは、重篤あるいは生命にかかわる疾患に関する薬剤の開発および審査の促進を目的とした制度です。この指定により、承認までの期間短縮のための開発・申請計画の相談や審査資料の段階的提出・審査などの制度が利用可能になります。

「レンビマ」は、下図のとおり、がん細胞の増殖に関わる信号だけではなく、がん細胞に酸素や栄養を送る血管をつくる信号をブロックし、がん細胞を兵糧攻めにする画期的な分子標的抗がん剤です。



## ●新連結子会社「EAファーマ」を設立 国内最大の消化器スペシャリティファーマをめざして

2015年10月、消化器疾患領域に関連する事業の一部を分割し、味の素株式会社の100%子会社である味の素製薬株式会社に承継する統合契約を締結しました。これにより、当社が株式を60%、味の素株式会社が40%を保有する当社の新しい連結子会社「EAファーマ株式会社」が、2016年4月にスタートする予定です。

EAファーマでは、当社の製品や開発品、豊富な知識、経験、ネットワークと、アミノ酸技術をベースとする味の素グループでの味の素製薬のユニークな製品、開発品といった、両社の知見・ノウハウなどの資産を一体化し、領域を集中することにより生産性を向上させます。

EAファーマは、国内最大級の消化器スペシャリティファーマとして、当社グループのhhc理念実現の一翼を担ってまいります。

